

年間授業計画 新様式

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： （1組：中溝）（2組：目崎）（3組：中溝）（4組：目崎）（5組：目崎）（6組：目崎）（7組：福岡）（8組：福岡）

使用教科書： （大修館 新高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

【知 識 及 び 技 能】保健や体育で得た知識と技能を活用し、生涯にわたり率先、また適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会や健康、自己の課題を発見し、適切に判断・行動ができる思考力等を高める。

【学びに向かう力、人間性等】自己の体力や健康について課題を見つけ、課題解決に向けて主体的に取り組む。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
主体的に学んだ知識や技能を実生活で生かし、情報活用能力を育む。	個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。	課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
1 学 期	1 日本における健康課題の変遷 2 健康の考え方と成り立ち 3 ルスプロモーションと健康に 関わる環境づくり 4 健康に関する意思決定・行動選択 【知識及び技能】 ・健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	・教科書、プリント、パワーポイント等 ・一人1台端末	【知識・技能】 ・健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	5 現代における感染症の問題 6 感染症の予防 7 感染症・エイズとその予防 【知識及び技能】 感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O 157 等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む。	・教科書、プリント、パワーポイント等 ・一人1台端末	【知識・技能】 感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O 157 等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	8 生活習慣病の予防と回復 9 身体活動・運動と健康 【知識及び技能】 生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	・教科書、プリント、パワーポイント等 ・一人1台端末	【知識・技能】 生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	10 食事と健康 11 休養・睡眠と健康 12 がんの予防と回復 【知識及び技能】 生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	・教科書、プリント、パワーポイント等 ・一人1台端末	【知識・技能】 生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
2 学 期	13 喫煙と健康 14 飲酒と健康 15 薬物乱用と健康 【知識及び技能】 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解する。 薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	・教科書、プリント、パワーポイント等 ・一人1台端末	【知識及び技能】 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	16 精神疾患の特徴 17 精神疾患への対応 【知識及び技能】 精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることについて、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患の予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患の予防とその回復について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む。	・教科書、プリント、パワーポイント等 ・一人1台端末	【知識及び技能】 精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患の予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患の予防とその回復について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1

3 学 期	1 事故の現状と発主要因 2 交通事故防止の取り組み 3 安全な社会の形成 【知識及び技能】 事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。	・教科書、プリント、パワーポイント等 ・一人1台端末	【知識及び技能】 事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	4 応急手当の意義と救急医療体制 5 心肺蘇生法 6 日常的な応急手当 【知識及び技能】 自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や避難も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む。		【知識及び技能】 自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や避難も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
							合計
							35